

## 令和5年度 第2回エリア全体会 会議録

1. 開催日時 令和5年9月27日(水) 13:00～15:00

2. 場 所 浜北区役所3階大会議室

3. 出席者(敬称略)

### 【構成員】

	カテゴリー	所属	役職	構成員	備考
1	計画相談(児)	相談支援事業所シグナル	所長	尾関 ゆかり	
2	社協	浜松市社会福祉協議会天竜地区センター	C S W北部 地域リーダー	永井 紀子	
3	当事者(個人)	特定非営利活動法人 Harmony	理事長	池谷 直士	欠席
4	当事者(団体)	浜北手をつなぐ育成会	会長	伊藤 基久	
5	当事者(団体)	浜松地区肢体不自由児親の会	副理事	村松 真奈美	
6	教育関係	静岡県立浜北特別支援学校	校長	山村 仁	
7	教育関係	静岡県立天竜特別支援学校	校長	湯本 健治	
8	教育関係	浜松市立中瀬小学校	スクールソーシャル ワーカー	鈴木 洋貴	
9	医療関係	メンタルクリニック・ダダ	相談員	山田 知佳	欠席
10	医療関係	独立行政法人国立病院機構天竜病院 療育指導室	療育指導室長	藤森 豊	欠席
11	事業所(こども)	児童発達支援センター「ひまわり」	施設長	太田 裕子	Web
12	事業所(入所)	支援センターわかぎ	施設長	稲松 義人	
13	事業所(入所)	天竜厚生会 入所支援課	課長	疋田 光二	
14	事業所(通所・児)	放課後等デイサービス事業所 あざみ	保育士	竹内 こず江	欠席
15	事業所(通所・者)	たちばな授産所	サービス管理 責任者	大倉 ゆかり	欠席
16	事業所(多機能)	浜北愛光園	園長	上野 拓朗	
17	地域	浜松市浜北区民生委員児童委員協議会	常任事理	渥美 由美子	
18	地域	浜松市天竜区民生委員児童員協議会	副会長	柳田 温	

### 【オブザーバー】

1	基幹相談	浜松市障がい者基幹相談支援センター	相談員	玉澤 卓也	
---	------	-------------------	-----	-------	--

【事務局】

	カテゴリー	所属	役職	構成員	備考
1	事務局	社会福祉法人 天竜厚生会	地域福祉課長	諸田 嘉人	
2	事務局	社会福祉法人 みどりの樹 相談支援事業所ぼるた	管理者	加藤 祐司	
3	事務局	浜松市浜北・天竜障がい者相談支援センター	管理者兼相談員	大柳豆 勇太	
4	事務局	浜松市浜北・天竜障がい者相談支援センター	相談員	野島 和樹	
5	事務局	浜松市浜北・天竜障がい者相談支援センター	相談員	日置 日登美	
6	事務局	浜松市浜北・天竜障がい者相談支援センター	相談員	山本 昂哉	Web
7	事務局	浜北区社会福祉課	課長	伊藤 弘和	
8	事務局	浜北区社会福祉課	課長補佐	恒川 洋代	
9	事務局	浜北区社会福祉課	障害者支援 グループ長	島田 佐栄実	
10	事務局	浜北区社会福祉課	障害者支援 グループ	井原 卓巳	
12	事務局	天竜区社会福祉課	課長	榊原 克人	
13	事務局	天竜区社会福祉課	課長補佐	小栗 康治	
14	事務局	天竜区社会福祉課	障害福祉 グループ長	杉本 太司	
15	事務局	天竜区社会福祉課	障害福祉 グループ	青山 将丈	

4. 議事内容

(1) 日中サービス支援型GHの評価について

5. 会議録作成者 天竜区社会福祉課 障害福祉グループ 杉本

## 6. 会議記録（要約形式）

### （1）日中サービス支援型GHの評価について

伊藤委員

- ・どの施設にも言えることだが、職員間の意思疎通やコミュニケーションをどうされているか。

㈱SDGSホーム

- ・職員同士が集まった食事会やプライベートでの交流の機会。
- ・職員会議の際、お茶菓子を提供することにより話しやすい雰囲気づくりを心掛けている。

村松委員

- ・社内勉強会を計画されているが、今後の計画や既に実施したものがあれば教えてほしい。

㈱SDGSホーム

- ・日々の業務に追われ満足にできていない現状。
- ・障害の方を支援するにあたっては職員の人格や人間形成が大事だと思っている。当たり前の事だが、日々の生活のなかでの『おはよう』など些細な声掛けなどを大事にしている。

村松委員

- ・様々な障害を持たれている方を対象に支援をしているため、高齢になって車イス生活になった方と、元々車イス生活を送っていた方では支援方法が異なる。障害特性を理解した支援を実施してほしい。

伊藤委員

- ・医療的ケアのある方について。知的障害のある方だと他者に興味を示す場合がある。本来であれば触れ合う機会はあると思うが、感染症の心配もあるなかで、どのような対応をされているか。

㈱SDGSホーム

- ・他の方に興味を持ち、場合によっては手が出てしまう可能性のあるケースもある。その際は、食事など生活の時間をズラしたり、職員の見守り体制を強化しつつ対応をしている。

伊藤委員

- ・夜間対応についてはどのようにされているか。

㈱SDGSホーム

- ・夜間については共有スペースに防犯カメラが設置されている。居室についても入居者に了解のもと施錠対応をしており、他の方が居室内に入るような事がないようにしている。

伊藤委員

- ・防災について、地域への協力体制はどのようにされているか。

㈱SDGSホーム

- ・地域の防災訓練には参加できていない。地域の協力は必要と考えており、中学生や高校生などのボランティアを通して、障害理解に努めつつ、防災等、困った際に助けてもらえるような取り組みをしていきたい。

伊藤委員

- ・防災の部分に関しては今後も一緒に考えていきたい。

#### 尾関委員

・男性職員が女性棟に入る事はあるのか。男性職員を守るという点で気になったので質問をした。

#### (株)SDGSホーム

・男性職員が女性棟に入ることはあるが、直接的な支援を行うことはない。見守り支援を基本としている。また、共有スペース（防犯カメラあり）のみの立ち入りを原則としており、居室への出入りはしていない。また、逆に女性職員が男性棟に入ることもあるが、対応は同様である。

#### 村松委員

・入浴支援はどのようにされているか。同性介護なのか。

#### (株)SDGSホーム

・現在、入居されている方は自身で入浴が可能な方となっている。ただ、髪の毛の洗い残しの確認や背中を洗ってほしい等の支援を希望される方もいるため、やむを得ず異性介護が生じてしまう場合がある。その際は、トラブルを避けるため、他の職員への報告しながら単独での支援をしないように心掛けている。

#### 尾関委員

・親切的な鍼灸整骨院と連携するとあるが、あえてこの事業所を選択している理由は。

#### (株)SDGSホーム

・会社として訪問看護事業を展開していることもあり、地域の事業所として提携している。

#### 尾関委員

・事前見学の際に、地域からの受入れが十分ではないと伺った。具体的にどのような理由でそう感じたのかを伺いたい。そこに対して協議会等で何かできる事があればと思うが何かアイデアがあれば教えていただきたい。

#### (株)SDGSホーム

・浜北新原に比べると浜北本沢合は土地柄から住宅街でもあり、特に看板も設けているわけでもないため、建物だけを見るとアパートが新設されたと認識をされてしまう。先日、無断外出をされた方が地域住民により保護された事があり、そこで初めて障害のGHの存在を知っていただく機会があった。ただ、今のところ地域住民からの反対などはない。

#### 伊藤委員

・浜北本沢合は福祉に理解のある地域である。学生のボランティアなどを上手く活用しながら地域との繋がりを作りつつ、自治会への理解にも繋げていく取り組みをすれば有効ではないか。

#### 山村委員

・15年前に県立の学校に移管され現在の西中瀬に学校が存在している。本沢合も西中瀬も昔から現在進行形で障害福祉に理解のある街であると感じている。中学部の生徒に対して作業学習をしてくれているボランティアもいる。そのような方々の繋ぎも可能である。

#### 柳田委員

・民生委員と障害を持たれている方の接点は希薄である。障害を持たれた方は表面上出にくい存在となっているからである。（自身は）SDGSホームへの見学をしたことはあるが、民生委員のほとんどがGHのことを把握されていない。自身も情報収集をしながら他民生委員への

発信は積極的にしていきたい。

伊藤委員

・地域のなかに GH を展開していることは地域にとってもプラスになっていると思う。実現可能かは不明だが、地域の相談先として担う事は可能なのか。なかなか区役所まで足を運ぶことは大変であるため、身近に相談先があると良い。相談を受ける場所、支援機関に繋ぐ役割を担っていただけるとありがたい。

村松委員

・質問ではないが、先程の研修に関する質問の際に、職員のご利用者への声かけに関する話があったが、親の立場としてはとても嬉しいこと。些細な声掛けであっても、その人を見てくれているのだと感じる。人間と人間との関係であるため、今後も大切にしてほしい。

伊藤委員

- ・職員同士の交流はどのようにされているか。
- ・御社の場合、規模が大きいが職員の異動等どのような形で運営されているか。

ソーシャルインクルー(株)

- ・希望があれば新規で開設された GH の方が自宅から近いようであれば、そこへの異動も可能。ただ、正社員は人員の配置上、足りていないホームへの配置をお願いしている。パートはある程度希望に添った形をとっている。
- ・職員間の交流については、開所前のホームに集まり職員の座談会を開催している。

伊藤委員

- ・知的障害の方だと職員の異動に対して敏感に反応（影響）してしまい、不安定になってしまう可能性もある。異動の際は事前にお知らせするなど配慮をしていただきたい。
- ・施設入所と GH の違いについて教えていただきたい。

ソーシャルインクルー(株)

- ・少人数である事。ご利用者一人ひとりに合わせた支援が可能。また、内部のみならず外部の通所先に通う方もいる。

伊藤委員

・入所施設のイメージだと、施設内で生活が完結してしまう印象。一人ひとり生活スタイルは違うわけで、外部の事業所へ通所をするなどメリハリのある生活を送れる事は良いことだと思う。

疋田委員

- ・入所施設の場合は障害支援区分が 4 以上（50 歳以上は 3）が必要であることが前提。
- ・実施状況報告書や事前見学メモを拝見すると、入居されている方 16 名のうち 3 名の方は障害支援区分が出ているが、他の方は障害支援区分がついていないのか。

ソーシャルインクルー(株)

- ・実施状況報告書は令和 4 年度の実績であり、当ホームは令和 5 年 2 月に開所されたため、令和 5 年 2 月と 3 月の実績のみとなっている。現状、入居者全員が障害支援区分は出ている。

疋田委員

・通所されている方が少ない印象を受けた。当法人でも施設入所者で外部の通所先に通所をされている方もいる。必ずしも入所先の施設で日中を過ごさなくても良い。日中は外部の施設に通い、生活の場として入所施設で過ごす方もいる。とはいえ、障害支援区分が 4 以上の方々が

生活をされているため、全員が全員そうはいかないが。

#### 村松委員

・ホーム内で新型コロナウイルス感染者が発生したため、事前見学会へ行けていないため実際に支援について把握はできていないが、入浴支援はどのような形となっているか。回数を踏まえ。

#### ソーシャルインクルー(株)

・その方の希望に沿って対応している。自身で対応できる方は毎日、車椅子等支援が必要な方は2日に1回となっているが、希望があれば応相談。

#### 村松委員

・研修や勉強会について、実際に行ったこと、今後予定しているものがあれば教えてほしい。

#### ソーシャルインクルー(株)

・本社の方で年間計画を立てている。  
・年に2回虐待防止研修や身体拘束適正化委員会を開催。  
・年に2回避難訓練を実施。  
・浜松市内の職員や静岡県東部中部のエリアマネジャーも参画し、職員の得意分野や資格を活かし、研修テーマを設けて内部研修という形で研修を実施。  
・外部研修であれば事例検討会への参加をする機会もある。

#### 伊藤委員

・緊急時の短期入所の受入れについて。

#### ソーシャルインクルー(株)

・これまでは緊急受入が短期入所のみとなっていたが、この度、市内全ホーム浜松市障がい者緊急時対応事業への登録を実施。10月より運用開始。  
・空床があれば緊急対応も可能である。

#### 永井委員

・見学時に入居者の方がフロアに出てきてくれて、生活されている空間であると感じられて嬉しかった。見学時の意見交換の際、自治会との繋がりのお話が挙がり、回覧板を回していただくよう検討しているとの事だったが、今回の報告にて既に回覧板も回していただいているとの事だったので、行動力が素晴らしいと感じた。ちなみにその回覧板を入居者が見れるようにはなっているのか。

また、移動販売については、鹿玉地区社協が一生懸命にやられており、買い物サポートという形で支援をされている。障害、高齢、児童分野問わず交流ができるキッカケになるのではと思う。

#### ソーシャルインクルー(株)

・回覧板は入居者へ見せる事は可能。  
・地域活動に参加したい希望があれば対応していきたい。

#### 湯本委員

・生活の幅が広がる事は大事な事。  
・外部への通所など地域に出ていく事も必要なことであり、充実した生活へと繋がっていくと思う。地域に開かれた取り組みについて、地域の祭りへの参加、清掃活動への参加、防災訓練への参加とあるが、今後の計画等あれば教えてほしい。  
・地域との相互理解は大切であり、自治会への定期的な交流は今後も実施してほしい。

・日中活動については個別のニーズに合わせてとあるが、職員の体制上厳しい部分もあると思われる。日課とする必要はないと思われるが、入居者が選択できるような活動を実施していく事も良いのではないか。

ソーシャルインクルー(株)

・自治会への会合は今後参加をしていきたい。先週、地域の祭りがあった。参加はできていないが、ホーム隣に屋台小屋があり入居者と屋台を見て楽しい時間を過ごした。  
・防災訓練については、消防への依頼はしてきたが、今後は地域の人への協力も仰いでいきたい。

湯本委員

・地域の活動を上手く活用していただき、あた、ボランティアなども巻き込み地域との繋がりを築いてほしい。

ソーシャルインクルー(株)

・浜北区の地域の実情が掴めていない状況にもあるため、10月の浜北区ネットワーク部会への参加をしつつ、支援機関等と繋がっていく皮切りにしていきたい。  
・柳田民生委員からも話があったが、民生委員と障害分野との関わりについては他のエリアでも同様に聞かれている。当ホームについても民生委員との関わりについては興味がある。  
・防災訓練については福祉避難所のような拠点機能を担えると良いと感じている。

稲松委員

・障害GHについては当法人も運営をしている立場でもあり、今回、制度が変わる中で新しい形のGH（日中サービス支援型GH）が立ち上がり、大変興味があった。両ホーム事前に見学会に参加させていただき、説明を聞く中で、我々が考えている支援の在り方については大きくは変わらないと感じた。入所施設、社会福祉法人が担えきれない部分を補っていただけという点では今後もお世話になると思う。逆に入所施設が評価をされる機会があっても良いのではと感じる。  
・緊急時の登録や相談支援事業所との積極的な連携はありがたい。先日、入所施設の集まりがあった際、誰でも受け入れをするのが原則だが、体制上等難しい場合もあるわけで、その際は明確な理由を示し、最終的には基幹障がい者相談支援センター受託法人で受け止める体制となっている。社会福祉法人が何とかしてくれるような風潮がありプレッシャーにも感じている。今後、入所施設が果たすべき役割、GHが果たすべき役割について、相互理解の機会を連絡会が中心となり考えていってほしい。  
・施設見学に関しても積極的に来ていただきたい。

ソーシャルインクルー(株)

・日中サービス支援型GHが評価を受ける事はありがたいこと。  
・入所施設の事についても理解を深めていきたい。

(株)SDGSホーム

・今のGHに足りていないこと、具体的には地域連携や親御さんからの信頼を勝ち取ること等、今回の意見交換会を通して道筋が見えてきたと感じた。  
・利用者が安心して暮らせる家を目指していきたい。

ソーシャルインクルーホーム(株)

・今回のような日中サービス支援型GH評価の存在を知らずにいたが、日々の勉強を重ねていき、ご利用者の為にも何もしることなく過ごす事は避けつつ、地域との繋がりの部分を少しずつ進めていきたいと思う。